

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%

保護者様： 27名回答、回答率 100%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・視覚的な案内や机を使ったスペース分け等、利用者様が分かり易い構造を目指している。
- ・相談室を用意し、クールダウンや集中したい時など気持ちを落ち着かせるよう促している。
- ・特性や相性、人員配置をふまえ、送迎時間変更等のご相談をして安全確保に繋げている。
- ・空調機が新しくなり、より温度調節がしやすくなった。
- ・冬場の水道は特に冷たく丁寧な手洗いの習慣が薄れてしまう傾向にある。

○業務改善

- ・業務前ミーティングを実施し利用者様の情報共有や意見交換、療育活動の振り返りを行う。
- ・第三者による外部評価は現在実施はないため、法人内で実施について検討を行う。

○適切な支援の提供

- ・毎月の療育テーマにそった活動案を職員間で話し合い、新しい内容のものを取り入れている。
- ・活動作りでは、楽しさや達成感を得られる取り組みになるように意識している。

○関係機関や保護者との連携

- ・保護者様から保育園・幼稚園等からの資料をご提示いただき支援の参考にしている。
- ・「放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会」については、一部保護者様からの要望を考慮して、現在は実施していない。ただ、スマートキッズ内で合同の療育活動を通して交流を深める機会は提供している。

○保護者への説明責任等

- ・日々のヒアリングや定期的な面談のほかに、療育参観や保護者会を開催している。

○非常時等の対応

- ・食物アレルギーの有無、服薬や予防接種、てんかん発作等の利用者の状況を共有している。
- ・緊急時における各種マニュアル等を策定し、職員間で研修や訓練を実施している。
- ・毎月の集団療育に様々な種類ごとの避難訓練を取り入れ、緊急時に備えている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

・8割以上の保護者様から「活動等のスペースが十分に確保されている」と回答をいただいた。

○適切な支援の提供

・個別支援計画や活動プログラムについて、「子どもの好き、親の希望をしっかりと取り入れてくれています」、「工夫して子供が興味を持ちやすいプログラムにして頂き、子どもも毎回楽しんでいま」、「祝日開室で野外活動ができるのがとてもいいと思います」というお声をいただいた。

○保護者への説明等

・家族支援サービスは適宜、療育参観と保護者会は半期に一度開催しているが、「家族支援プログラム」や「保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会」について、4割弱の保護者様から「わからない・いいえ」とお答えいただいた為、実施について周知を深めていく。

○非常時等の対応

・8割以上の保護者様から「非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われている」との評価をいただいた。

○満足度

・「スタッフが温かく、毎週決まった日に行く居場所として嫌ではないようで、楽しい時間も多そうです。」、「子どもの好きを取り入れてくれるので、毎回、楽しく通わせて頂いています。」、「いつもきめ細やかに子供たちをサポートしていただきありがとうございます。」といったお声をいただいた。

・「どうしても放課後の短時間のため厳しいと思うが、必ず学習時間を設けてほしい。」との要望をいただいたため、個別療育の取り組み方について方策を講じていく。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・定期的なブログの更新。
- ・療育参観、保護者会等の継続的な開催と周知徹底を行う。
- ・非常時の対応について具体的に提示し、かつ透明性をあげる。
- ・調理活動や課外活動といったより活発的で多様な集団療育の取り組み。
- ・他教室との合同的な療育活動の実施による包括的な交流の深化

○改善できた点・まだ残る課題

- ・調理活動や課外活動、また他教室との合同的な療育活動については、感染症対策の緩和により、主に学校休業日や祝日といった終日開室の際に、多く取り入れることができた。
- ・療育参観、保護者会は半期に一度開催したので、より多くのご家庭に参加していただけるよう、周知を図る。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・利用者様の好きなことや、保護者様の要望を取り入れつつ、月間ごとの療育テーマに沿って、興味が湧くような集団療育活動の提供を心がけている。
- ・学校休日や祝日の際のイベント開室では、調理活動や課外活動を多く立案し、様々な体験ができるような企画を取り入れている。
- ・お送りやお迎えの際や、送迎時の保護者様からのヒアリングを大切にしており、業務前後のミーティング等で職員間で共有し、支援の方針を検討する参考にしたり、業務改善を図ったりしている。

○改善点

- ・手洗い場の水温が特に冬場は冷たくなり、丁寧に手洗いを行いにくい状況になる。
- ・専門的な清掃は難しい。
- ・療育参観、保護者会の開催の認知度が低い。
- ・ペアレント・トレーニングといった家族支援サービスの利用を求めるお声が多い。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・感染予防の観点もふまえて、丁寧な手洗いの維持のための給湯器や、清潔な支援空間の提供のため、専門業者による定期的な清掃委託などの導入を視野に検討する。
- ・引き続き、様々な課外活動を立案できるよう、ドライバーの充実を図る。

○1年間で取り組む具体策

- ・教室での様子や取り組みをさらに知っていただくために、ブログの更新頻度を高める。
- ・療育参観、保護者会等の継続的な開催と周知徹底を行い、欠席されたご家庭のフォローアップの方法を検討し、実行する。
- ・ペアレント・トレーニングといった家族支援サービスを気軽にご利用いただくために、その機会を提案し、体験してもらう。